

平成22年度 群馬県環境GS認定制度 取組結果概要

環境GS（ぐんま・スタンダード）認定制度は、県内事業者が温室効果ガスを持続的に削減するための計画（Plan）を立て、実行（Do）、点検（Check）、見直し（Action）を行う体制、いわゆる「環境マネジメントシステム」を整備し、これを組織的に運用することを支援するものです。

平成18年度にスタートし、平成22年度末時点で1,191事業者が認定を取得しています。平成22年度の認定事業者の取組結果（内容・実績）は下記のとおりです。ここに取まとめた地球温暖化防止や省エネに関する他社の取組みの中で、自社でも適用可能と考えられるものはぜひ取組んでくださいますようお願いいたします。また、認定事業者個別の取組みにつきましては環境GS制度のホームページに掲載しております。

今回、報告書（継続申請書）をご提出いただいた事業者（以下、「継続認定事業者」という。）は1,121事業者であり、認定事業者全体の94.4%となっています。（図表1）。継続認定事業者は市町村別では図表2のとおりです。業種別では製造業290、建設・廃棄物処理業231、商業・金融・サービス業513、運輸業73、農林水産業・鉱業14となっています。（図表3）。また事業規模別では従業員数100名未満の事業者数が1,006と全体の90%を占めています。（図表4）

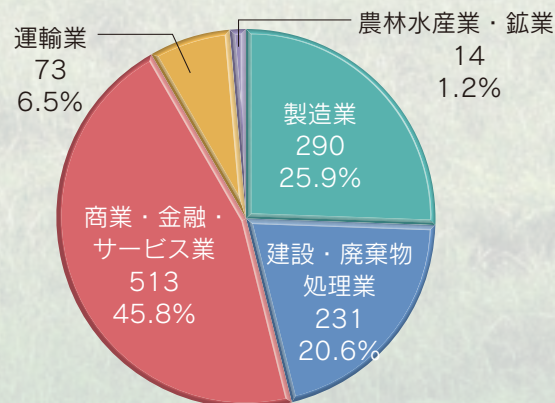
図表1 年度別認定事業者数

平成18年度認定事業者数	248
平成19年度認定事業者数	173
平成20年度認定事業者数	235
平成21年度認定事業者数	314
平成22年度認定事業者数	221
合 計	1,191
継続認定事業者数	1,121
継続率	94%

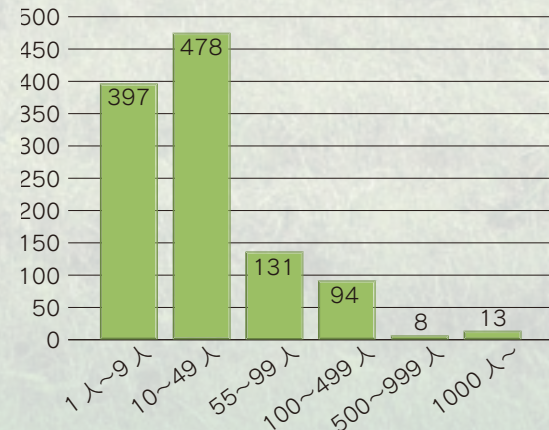
図表2 市町村別認定事業者数

前橋市	158	伊勢崎市	138	館林市	52	富岡市	23
高崎市	149	太田市	125	渋川市	29	安中市	27
桐生市	67	沼田市	55	藤岡市	38	みどり市	36
市 計				897			
榛東村	7	甘楽町	4	東吾妻町	16	板倉町	9
吉岡町	12	中之条町	14	片品村	8	明和町	5
上野村	0	長野原町	7	川場村	1	千代田町	18
神流町	1	嬭恋村	8	昭和村	4	大泉町	21
下仁田町	3	草津町	4	みなかみ町	22	邑楽町	42
南牧村	1	高山村	3	玉村町	14		
町 村 計				224			
合 計				1,121			

図表3 業種別内訳



図表4 事業規模（従業員数）別内訳



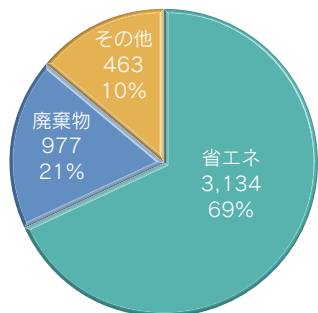
平成22年度取組結果の概要

1 取組内容

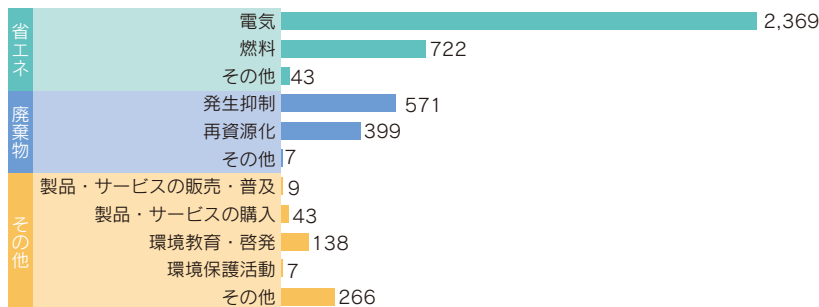
報告書の「取り組み実績・評価欄」については、効果が高かったと思われる取り組みのうち上位5項目を上限に記載していただきました。

ご報告いただいた合計4,574項目の取り組みを「省エネ」「廃棄物」「その他」に3分類した内訳を図表5に示します。また、図表6にはこれらの取り組み内容の一覧を示します。

図表5 取組の内訳



図表6 取組内容一覧



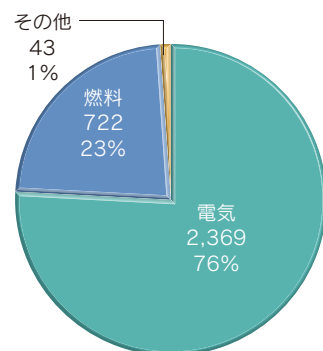
(1) 省エネに関する取り組み

今回、報告のあった4,574項目のうち「省エネ」に関する取り組みが3,134項目と全体の69%を占めました。このうち、電気（節電）に関するものが2,369項目（図表7）で、事務・管理部門においては「適正な空調温度設定・管理」、「こまめな電源ON/OFFの徹底」「エアコンフィルター清掃・点検の実施」「サーキュレーター・扇風機とエアコンの併用」「窓に遮熱シートを貼付」などの取り組みが報告されました。

また、生産工程においては、「エアー漏れ点検・保守管理」「工程改善、作業改善、不良率低減」など運用面における取り組みのほか、「省エネ効率の高い機器に更新」「デマンド監視機による使用最大電力の管理」など、使用最大電力を引き下げようという取り組みが報告されました。

燃料消費量の節約に関する取り組みは722件で、「エコドライブの実施・徹底」や「アイドリングストップの推進」など運用方法の改善によるもののほか、「低燃費車・天然ガス車・低公害車の導入」「効率的・計画的な配車、積載量・運送ルート調整」など省エネ型車両への更新、運送計画の見直しによる燃費の改善や走行距離の短縮に関する取り組みも報告されました。

図表7 省エネに関する取組の内訳



■省エネに関する事例（抜粋）

電気（事務・管理）

- ・適正な空調温度設定・管理
- ・こまめな電源ON/OFFの徹底
- ・エアコンフィルター清掃・点検の実施
- ・蛍光灯の間引き・個別点灯
- ・蛍光灯のブルスイッチ分割
- ・LEDや電球型蛍光灯など高効率照明への更新
- ・昼休み・休憩時間及び非使用場所の消灯
- ・グリーンカーテン・よしずの利用
- ・窓に遮熱シートを貼付
- ・自動販売機の電源OFF（長期休日期間）
- ・サーキュレーター・扇風機とエアコンの併用
- ・OA機器を省エネモードに設定
- ・省エネ型空調設備・機器への更新
- ・風通しの改善、服装による調整
- ・執務場所の集中による点灯・空調箇所の削減

電気（生産工程等）

- ・エアー漏れ点検・保守管理
- ・デマンド監視機による使用最大電力の管理
- ・冷却水ポンプの温度制御化
- ・インバーターコンプレッサーの導入
- ・大型空調機・ボイラーの効率運転
- ・チラーの温度設定管理および設備稼働調整
- ・歩留り管理による効率生産の実施
- ・生産設備のエネルギーロス削減（適正運転、空運転防止など）
- ・循環ポンプへのインバータ制御装置取付
- ・省エネ効率の高い機器に更新
- ・成形機の電動化（油圧式から交換）
- ・溶解燃料の変更（A重油・LPG→LNG）
- ・生産工程で発生する廃熱の有効利用
- ・工程改善、作業改善、不良率低減

燃料

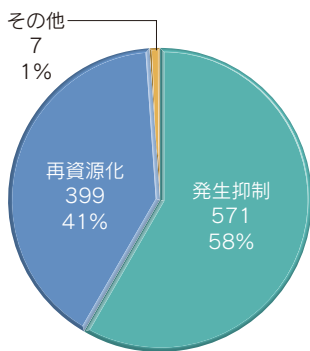
- ・エコドライブ推進体制を作り、組織的に実施
- ・アイドリングストップの徹底
- ・デジタコグラフの導入
- ・SR（セーフティーレコーダー）の活用
- ・車両の点検・整備
- ・車両別燃費の管理
- ・同方向へ出向時の車両相乗り
- ・低燃費車・天然ガス車・低公害車の導入
- ・効率的計画的な配車、積載量・ルートの調整
- ・燃料をLPGからLNGに変更
- ・冬季の暖気運転時間削減
- ・高燃焼効率のガス炊きボイラー稼働
- ・木材燃料ボイラー導入
- ・廃プラスチックから生成した燃料の使用

(2) 廃棄物に関する取り組み

「廃棄物」に関する取り組みは977項目と全体の21%を占めています。このうち、「両面コピー・使用済み用紙の裏面利用の徹底」「電子情報の有効活用による過剰コピーの抑制」「改善活動による生産工程の不良削減」など廃棄物の「発生抑制」の取り組みが571件、「社内リサイクル体制の整備」「廃棄物の分別ルール of 徹底」など、発生した廃棄物を「再資源化」しようとする取り組みが399件報告されました。(図表8)

このように、多くの事業者において、電子情報利用・会議資料削減によるペーパーレス化や歩留まり管理強化による廃棄削減などの発生抑制(リデュース)、生産工程において使用されたパレットや容器等の再利用(リユース)、廃棄物の分別回収・資源の再生(リサイクル)が進められています。

図表8 廃棄物に関する取組の内訳



■廃棄物に関する事例 (抜粋)

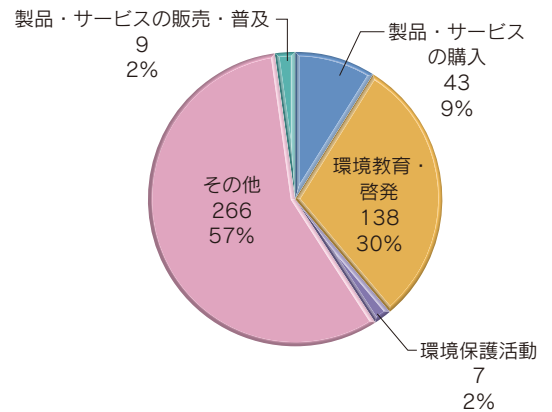
事務・管理	生産工程等
<ul style="list-style-type: none"> 両面コピー・使用済み用紙の裏面利用 電子情報の有効活用(過剰コピー抑制) 社内リサイクル体制の整備 廃プラスチックのリサイクル 缶、ビン、紙類の分別回収の徹底 生ゴミのコンポスト処理 マイバッグ利用(レジ袋削減)の勧奨 使用済みコピー用紙をシュレッター後、緩衝材として活用 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の分別ルールの徹底 梱包緩衝材・廃油・粉碎された端材のリサイクル実施 歩留まり管理強化による廃棄物削減 おが粉の製造過程で発生する不適木材を薪として利用 遊休設備の作動油、潤滑油の再利用 改善活動により生産工程における不良削減 生産活動で発生する材料スクラップの商品としての認識強化 パレットや使用済み容器等の再利用

(3) その他の取り組み

「その他」に分類された取り組みは463件報告されました。このなかでは「省エネ・環境・エコドライブに関する教育・啓発の実施」が138件と最も多く、ほかに車両運転月報や電力使用量推移グラフの回覧・掲示などの取り組みも数多く報告されました。(図表9)

さらに、「環境配慮型商品の販売・普及」「事業所内使用製品のグリーン購入」「使い捨て商品の購入抑制」など通じて、環境保護・省エネにつなげていくという取り組みも数多く報告されました。

図表9 その他の取組



■その他の事例 (抜粋)

環境・教育啓発	製品・サービスの購入	製品・サービスの販売・普及	その他
<ul style="list-style-type: none"> 定期的な社内の環境教育の実施 環境会議の実施 エコドライブ推進会議を実施 省エネ・環境・エコドライブに関する教育・啓発の実施 車両運転月報作成による省エネ意識の徹底 電力使用量推移グラフの回覧・掲示 	<ul style="list-style-type: none"> 使い捨て商品の購入抑制 リサイクル品の購入の強化 エコマーク付き商品の購入 事業所内使用製品のグリーン購入 	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮型商品の販売・普及 省エネ製品の開発・販売・宣伝 	<ul style="list-style-type: none"> 環境パトロールの継続実施 壁面緑化システムの運用管理 雨水の貯水利用や井戸水利用 社内監査において省エネ実施状況を点検、指導する 社外での環境保全活動への参加 電力使用量推移グラフ化の掲示

2 取組実績

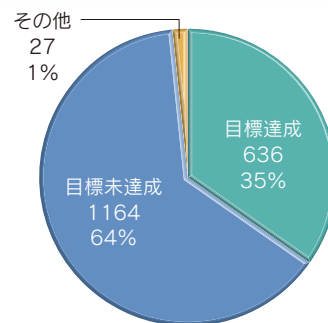
継続認定事業者の報告には、「CO₂排出量が前年度に比べて削減となったものの、短期目標に定めた水準は達成できなかった」ケースや、「CO₂排出原単位としては削減されているものの、生産量が増えたことによりCO₂総量では増加した」ケースなどもあります。このため、環境GSによるCO₂削減効果の総量を数値で把握・評価することは困難です。

今回、各事業者が自律的に設定した個別の評価指標(1,838項目)については35%が短期目標を達成(21年度は55%が短期目標を達成)、また、22年度の実績を前年度と比べてみると49%の指標で改善が見られました。(21年度は65%が前年度に比較して改善) このように、いずれも21年度に比較して大きく低下しています。

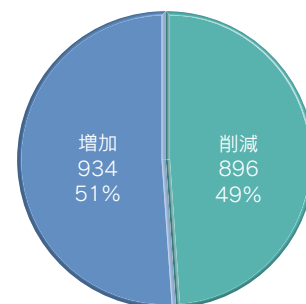
これについては、「22年夏季の高温による冷房稼働の増加」「業務量の一時期集中に伴う設備運転の非効率化」などが主な要因という総合評価が数多く報告されました。

23年度は、電力供給に大きな問題が生じたことから、CO₂排出削減対策の中でも特に節電に力を入れることが求められています。各事業者におかれましては、CO₂の排出削減に向けた取り組みを引き続き実施していただきますようお願いいたします。

図表10 短期目標達成割合



図表11 前年度実績との比較



3 その他

環境GS認定事業者への支援として、次のとおり実施しました。

(1) 環境GS推進員派遣

認定を受けようとする事業者及び認定事業者に対し、その取り組みや申請事務等に係る助言・支援を行うため、環境GS推進員を派遣しました。22年度においては合計80件の派遣を実施し、環境GS認定事業者の取り組みを支援しました。以下に主な支援内容をご紹介します。

- 環境GS認定制度実施にあたっての社内取り組み体制
(経営者の役割、従業員教育、計測、記録方法、社内でのちょっとした工夫などの効果的な実施方法について)
- 選定指標の見直し、総量方式から原単位方式への変更、追加する指標の選定
- 廃棄物の処理方法。環境法規制に関する情報提供
- エコドライブ関連(燃費把握、車両管理方法)
- 空調・冷凍設備・電気・照明に関する省エネルギー対策
- 製造工程における省エネルギー対策
- 環境GS認定制度一括認証のための学習会への講師派遣

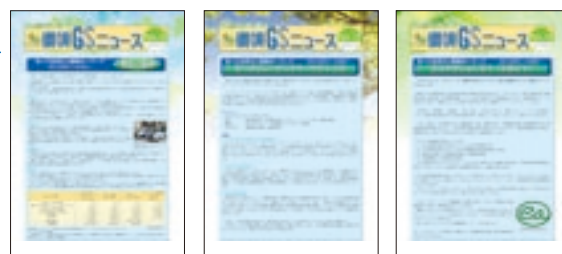
(2) 環境GSマネージャー研修会の開催

22年度は、環境GS認定事業者を対象に年2回の研修会を開催しました。

H22. 8.25	群馬会館 2F ホール	116名	① 講演1「企業における温暖化対策と技術動向について」 群馬大学教育学部教授 西園大実 氏 講演2「国の中小企業向け省エネルギー支援策について」 経済産業省 関東経済産業局 資源エネルギー環境部エネルギー対策課 総括係長 石原 優 氏 ② 環境GS認定事業者事例発表 1社 サンデン株式会社 環境推進本部 エネルギー部部长 斉藤好弘 氏
H23. 3. 8	群馬会館 2F ホール	179名	① 講演1「環境GSの更なるレベルアップのために」 ～環境マネジメントシステム「エコアクション2.1」の考え方を生かして～ エコアクション2.1審査人・環境GS推進員 清水敬祐 氏 環境GS認定事業者事例発表 2社 「中小製造業におけるエコアクションへの取り組み」 株式会社とりせん 経営企画室経営企画課係長 佐々木慎自 氏 株式会社林製作所 管理部部長 林 司 氏

(3) 情報誌(「環境GSニュース」)の発行

22年度は、環境GSニュースを3回発行(vol.12～14)し、地球温暖化問題に関する情報提供や省エネ対策、認定企業の横顔、環境GS推進員のワンポイントアドバイス等を掲載しました。



群馬県環境GS認定制度 継続認定事業者一覧

Table with 4 columns: Company Name, Address, Phone Number, and Website. Rows are organized by town (e.g., みどり市, 草津町, 高山村, etc.).

編集・発行

群馬県環境政策課 〒371-8570 前橋市大手町1-1-10 TEL: 027-226-2817 FAX: 027-243-7702

群馬県地球温暖化防止活動推進センター

〒371-0016 前橋市城東町2-3-8 TEL: 027-237-1103 FAX: 027-232-1104